

《担当者名》 鈴木英樹 森 茂樹 菊地啓介 加賀谷芳夫

【概要】

作業療法士や理学療法士の日常業務の多くは社会保障システム（保健医療福祉システム）の中で実践されている。我々が技術の提供を行おうとする際に、それがどのような法的根拠に基づいて遂行されているのかを理解することが大切である。

本講義においては、保健医療福祉システムの目標の一つである、健康寿命の伸延のための国の取り組みを理解する。また、本システムの中で我々に特に関連の深い介護保険法や障害者総合支援法をはじめとした関係法令について、その概要や目的、理学療法士や作業療法士業務との関連について、実際の医療や福祉の現場での実践例を通して、現状と課題を理解する。

【学修目標】

一般目標

保健・医療・福祉現場におけるセラピストの活動と活動上の課題を理解するために、関係法規や制度、社会状況について理解する。

行動目標

1. 我が国における国民の健康状況について説明することができる。
2. 健康寿命の延伸のための国の施策（健康日本21等）について説明することができる。
3. 医療場面における病院の機能分化とそこでのセラピストの役割や業務について説明することができる。
4. 保健福祉分野におけるセラピストの役割や業務、諸活動の意味について説明することができる
5. 介護保険法、障害者総合支援法の理念や仕組みについて理解し説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	健康の定義、健康を支援するための国家政策、医療制度	鈴木英樹
2	公的介護保険制度	公的介護保険制度の仕組み、財源、サービス利用までの流れについて	鈴木英樹
3	公的介護保険制度	公的介護保険制度における各種サービス、ケアプラン、介護予防について	鈴木英樹
4	障害者の福祉制度	障害者総合支援法の仕組み、障害者の手帳制度について	鈴木英樹
5	医療場面におけるセラピストの実際	医療機関の機能分化、各々の医療機関におけるセラピストの役割について	森茂樹
6	介護予防事業におけるセラピストの役割	介護予防事業対象者把握のための仕組み、対象者に対する事業、セラピストの役割について	菊地啓介
7	在宅場面におけるセラピストの役割	訪問リハビリテーションにおけるセラピストの役割、課題について	加賀谷芳夫
8	まとめ	保健・医療・福祉制度の中でセラピストが果たす役割について	鈴木英樹

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験100%

【教科書】

一般財団法人厚生労働統計協会 編 「図説国民衛生の動向2019/2020」 2019年

【学修の準備】

新聞等での各種制度に関する報道に興味関心を持ち講義に臨むこと。

予習は、次回の授業範囲の教科書を読んでおくこと（80分）。

復習は、教科書やプリントを活用し学修を深めること（80分）。

定期試験及び追再試験終了後、問合せがあった場合には模範解答を例示し説明を行う。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）医学の進歩によって救命ができるようになり、また平均余命も伸びてきました。これからは、健康を損なっている人、病气やけがで心身に障がいを持っている人たちが地域でその人らしい生活を営めるように、保健・医療・福祉の各分野で活躍する専門職種が連携しあって、地域全体で支援していくことが重要です。その視点を持って作業療法の専門的な知識と技術を適切に提供できる能力を身につけます。

【実務経験】

鈴木英樹（理学療法士、介護支援専門員）

森 茂樹（理学療法士）

菊地啓介（作業療法士）

加賀谷芳夫（理学療法士、介護支援専門員）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や訪問リハビリテーション業務を通じて経験した実践内容や、実践の前提となる法律や行政施策の具体的な解釈や活用について講義を行う。